

413
353

七面鳥を食はる。此に食器をも改善すべきである。

七月五日(日)

乾草、毎日の散歩の結果、胃腸の工合が宜しい。
又か意地をたふとも昨日はターキーの續き三度の食
事をやつた。若干腹工合が悪い、午のケサンは
割合に合った。朝から検閲将軍が来た。午の日の皆が
掃地、焚火とは怠る。

七月六日(月)

昨日から雲大にカルに降雨あり至って冷し。
初めに順の姓名にほし #300 の coupon book
を配る。早速船中の用迄ふどもお米だけ買ひ込
んだ。三弗位の程度だから大した事はできないがこれ
でも役に立つ。夜食の祭、義理の crack を生じた。
此の上使用料は割れて了。先んで、インフラ米
三回月である。直にヤシドクターに依頼し、軍医
宿舎に交際の上修繕、いかに向合せの事した。
午の初めに Chatter Cookies と買つて置いたから
飯の代りに喰つて居ればよい。
午の検閲将軍がいつか来たのか、これは市兵
士の楽隊官連であつて下検分だったと云ふ。
叔父お身に、ハワイ空襲実見談が三人の徳信
及び一名の速師に依つて演ぜられる。昨午空軍の

414
354

（真珠湾襲撃）

勇敢且つ巧妙なりと云ふ事なり。痛快を極めた。Sill 少尉ハワイの人連からの戦争話からつたが、これは我々他の島々からの諸君であつたから圓を傳へて聞きやう。今晚のは軍実目撃者の話だにけつて、流石に肉おどき血沸きの威あつた。中川は（馬橋に於て）午前八時何ら頃から午後四時近くまで、又眼鏡と手巾 Veranda から眺め入った人さへあつたので、其実況は粗ぼ想像できようである。演説中強烈な夕立来り、涼味豊である。

七月七日（火）

（馬場の会見）

早曉降雨。四時頃日寛む。持暗も通し、窓外と眺めると、雨中に草花が灰にやらの芝野趣漫にたどつたかの、恰も初秋の威を呼び、漫ろ物哀れい思ふ。今日こゝでは検閲官が来るので其の代表者は会見。神々の要求をすまふ事につての事で既に準備は出来てゐる。午後一軍常（部K-1区域の主任）は去る会へ来て、general が来りから bed は斯うやつて整頓して貰ひ度いと、丁寧に畳み方を教つてやつた。其らに取つて、ベッドの畳み方など余計な事である。そんな事は Geneva treaty にはない筈だ、けれど此の停戦仕兵の顔を立て、布圖と生命と、こつちの方への儘態良く畳んで置いた。其の一軍令を見せられたにけ、寧ろこつちへは来さかつた。さすかは將軍にけ、事はあつた。初検閲官との会見の結果に我々崎村君から